

	米国	英国
趣旨・目的	<p>この計画の目的は、NAS がその才能・資源・注意を払うに値する多くのプロジェクトや問題の中から優先順位をつけ、最大限の効果を発揮し、重複を避け、国家に貢献する最も優れた科学を認識し促進するという使命をさらに推進できるようにすることである。この戦略計画は、科学的卓越性が人類の進歩と幸福に不可欠であることを社会が認識し、その卓越性の基準の設定をNAS に期待するという未来をNAS が実現するのに役立つものである。</p>	<p>2022 年から 2027 年にかけての急速な世界的変化を背景に、王立協会の主要な活動計画を概説するものである。本計画は、王立協会の全活動を包括的に示すものではなく、王立協会がこの期間中に最も貢献できる分野を強調し、そのためにどのようなことを行うかについての計画をハイレベルで示したものである。</p> <p>本計画は、近い将来における王立協会の活動に優先順位をつける際の実際的な助けとなることを目的としている。</p>
目次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミッションステートメント</li> <li>・ <b>目標 1：重要な社会的・地球的課題に取り組む</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 a. 行動を喚起する</li> <li>1 b. 学問分野や文化の垣根を越えたコミュニティを構築する</li> <li>1 c. 米国内外の能力を高める</li> </ul> </li> <li>・ <b>目標 2：一般の人々の科学に対する理解と認識を高める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2 a. 新しく多様で効果的なコミュニケーションの手段を拡大する</li> <li>2 b. 科学への理解を促進する</li> <li>2 c. 科学と科学的手法に対する理解と信頼を築く</li> </ul> </li> <li>・ <b>目標 3：科学の文化と実践を向上させる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 a. 専門家としての行動に最高水準を設定する</li> <li>3 b. 科学的従事者の卓越性と多様性を推進する</li> <li>3 c. 専門職の報酬制度について、変革的思考と実験を奨励する</li> <li>3 d. 全分野にわたる基礎研究事業を支援する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦略計画について</li> <li>・ 計画策定の戦略的背景</li> <li>・ 英国王立協会の役割 (戦略的優先事項)</li> <li>・ <b>フェローシップ、外国人会員、そしてその先</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ フェローシップが科学的卓越性を代表するものとなるような活動プログラムを実施する</li> <li>－ 協会の業務と業務プログラムに対するフェローの視点を探る</li> <li>－ フェローシップとの緊密な関係を構築する</li> <li>－ フェロー、補助金受領者等の協会活動への参加を引き続き強化する</li> </ul> </li> <li>・ <b>影響力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 科学の政策環境の健全性を確保するための作業プログラムを実施する</li> <li>－ 国際機関を含む意思決定者たちに科学的根拠をより広く認識させるために注目度の高い活動プログラムを支援する</li> <li>－ あらゆる分野の意思決定者の課題を浮き彫りにする</li> </ul> </li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>研究システムと文化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 英国の科学システムの資金、ガバナンス、方向性に関する長期的なコンセンサスを推進する</li> <li>－ フェローシップの拡大や助成金を通じて卓越した研究を直接支援し続ける</li> <li>－ 卓越性と質を育む研究文化を促進するためにあらゆる手段を駆使する</li> <li>－ 科学者のキャリアにおける一貫性と公平性の向上を支援する</li> <li>－ 若手研究者の見識を活用していく</li> <li>－ 科学者の平等、多様性、包括性の向上に努める</li> </ul> </li> <li>・ <b>科学と社会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ より広範な市民参加と双方向対話へのアプローチを維持する</li> <li>－ 国内外の公共生活その他の主要部門への科学の提供を拡大する</li> <li>－ グローバル・イシュー・プログラムと一般参加型プログラムの相乗効果の開発に取り組み、対話を通じてより深い見識を促進する</li> <li>－ リスク、不確実性、科学的手法の特徴などのテーマを取り上げた集中的な活動を展開する</li> <li>－ 適切なパートナーとともに学校における教育政策とプロジェクトに引き続き取り組む</li> </ul> </li> <li>・ <b>コーポレート・ガバナンス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 最高水準のチャリティ・ガバナンスを目指す</li> <li>－ 人材と文化に関する取り組みを推進する</li> <li>－ 独立性を維持しつつ、野心的な活動プログラムを追求することを可能にする資金調達戦略を策定する</li> <li>－ デジタル機能の開発を継続する</li> </ul> </li> </ul>
--	--	---